事業所名：有限会社あすなるグループホームまごころ

作成日：2024年8月11日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束は絶対にしないという意識を全職員が持ち、制度の改正内容や身体拘束に関する内部研修を行う	身体拘束は絶対にしない	職員ミーティングや二カ月に一回の運営推進会議の場で制度改正の内容や身体拘束委員会の実施	24ヶ月
2	13	ユマニチュードに基いた会議の実践	見る・話す・触れる・立つの実践	職員ミーティングの中でユマニチュードを全職員が理解できるように内部研修を行い個別の対応を話し合っている	24ヶ月
3	19	入居者様・ご家族様との信頼関係を深め、共に安心して生活できるように支援していきたい	入居者様・ご家族様との信頼関係を深め、ご本人様とご家族様の絆を大切にしながら共に支えていく関係を築く	入居者様の生活状況を報告したり、ご家族様の要望を聞き信頼関係を深め、入居者様、ご家族様の交流の場を増やす	24ヶ月
4	26	認知能力や行動障害の原因、能力や出来そうな事(目標)、各活動の要望・解決策・ケアの留意点等をアセスメントに増やすとともにアセスメントをベースとして介護計画、日々の実践記録をに連動させていく	アセスメントをベースとしてケアプランと日々の実施記録に連動させる	アセスメントに本人の希望・要望を明記し認知能力や行動障害の原因・能力や出来る事(目標)・各活動の要望、解決策・ケア留意点等を改良したアセスメントに記載し、介護計画、日々実践記録に連動させる	24ヶ月
5	33	体調の変化時・緊急時・終末期において、全職員が慌てず対応できるようにし、緊急時、主治医や看護職との連携を行う	基礎疾患に応じたケアの留意点・体調変化や終末期における留意点を主治医に確認し適切な対応を心がける	主治医や訪問看護との協力体制のもと、ご家族様との早めの話し合いを行い、終末期ケア・体調の変化時・緊急時の適切な対応を行う、緊急時は主治医や訪問看護との連携をとり、適切な受診につなげる	24ヶ月